

わす
「忘れないで、
ロイ！」

ロイは 友だちの セドリックの
いえ まね いっしょうかん せいしよ
家に 招かれて、1週間、聖書の
べんきよう たの
勉強を しながら いっしょに 楽しく
す
過ごしていました。

こん や
今夜は、
あん き せい く
暗記した 聖句を
おさらいするよ。

みんな、ぼくたちが あん き
つか 暗記に
使っている、かぎ せい く
鍵となる 聖句の
しょうさつし も
小冊子は 持ってきたかな？

しまった！
わす
忘れちゃったよ！

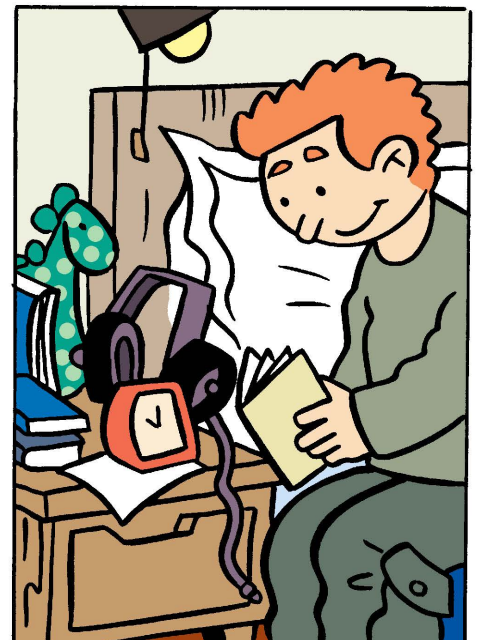
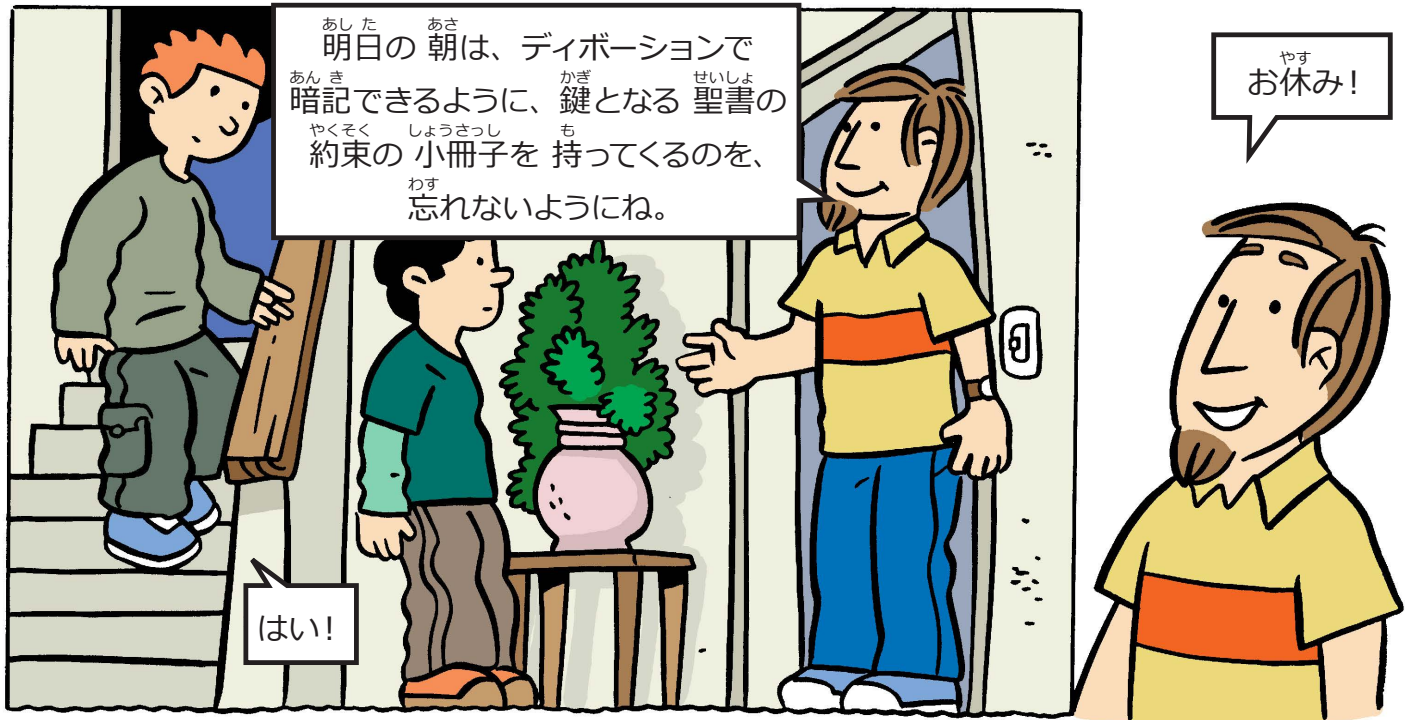
つぎ わす せいしよ
この次は、忘れないように。聖書の
やくそく あん き まいにち
約束を 暗記するのは、毎日の 暮らしに
かみ こと ば ちからづよ い
神の み言葉が 力強く 生きてくるように
するための かぎ
鍵だからね。

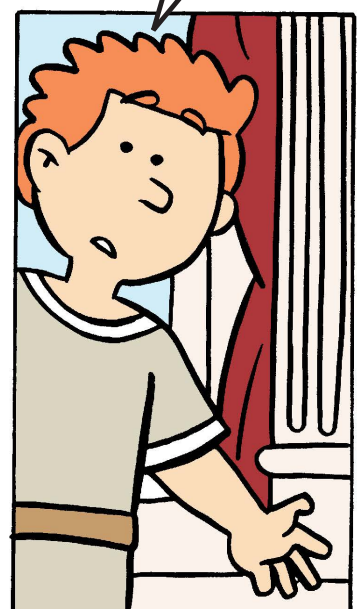
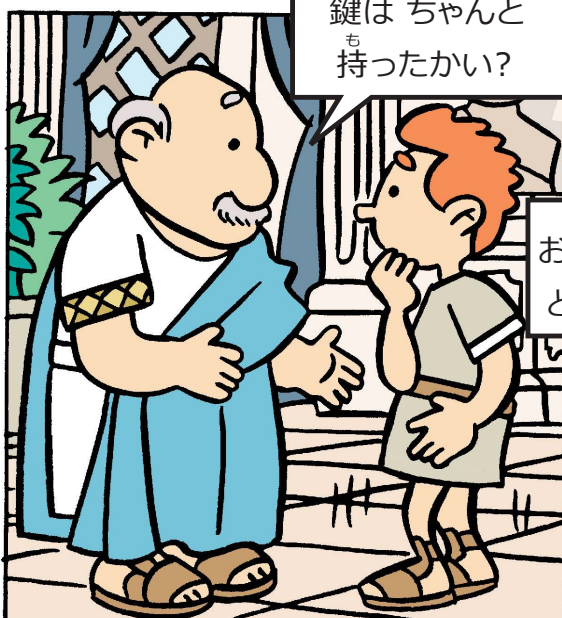
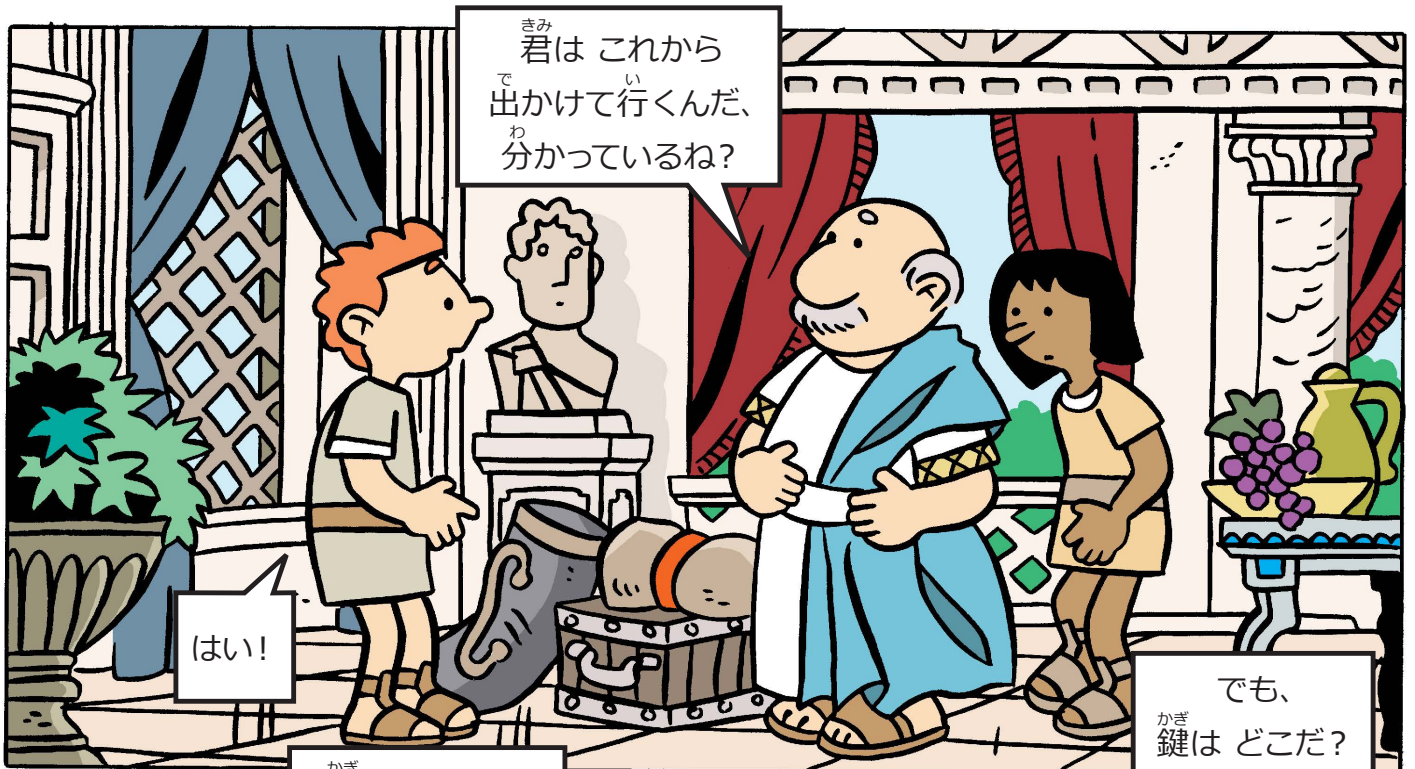
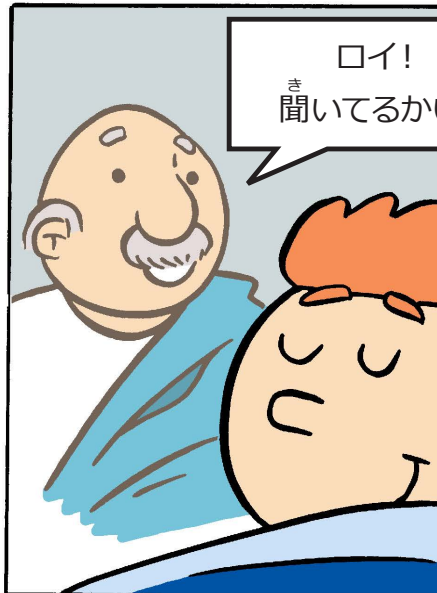
あん き ころ かん こと ば み ほうほう
暗記は、心を 神の み言葉で 満たす 方法でも
ある。心が み言葉に 満たされていないのは、
いしや かた ひと
医者が やり方も わきまえていないのに 人を
いやそうと するような ものだ。または・・・

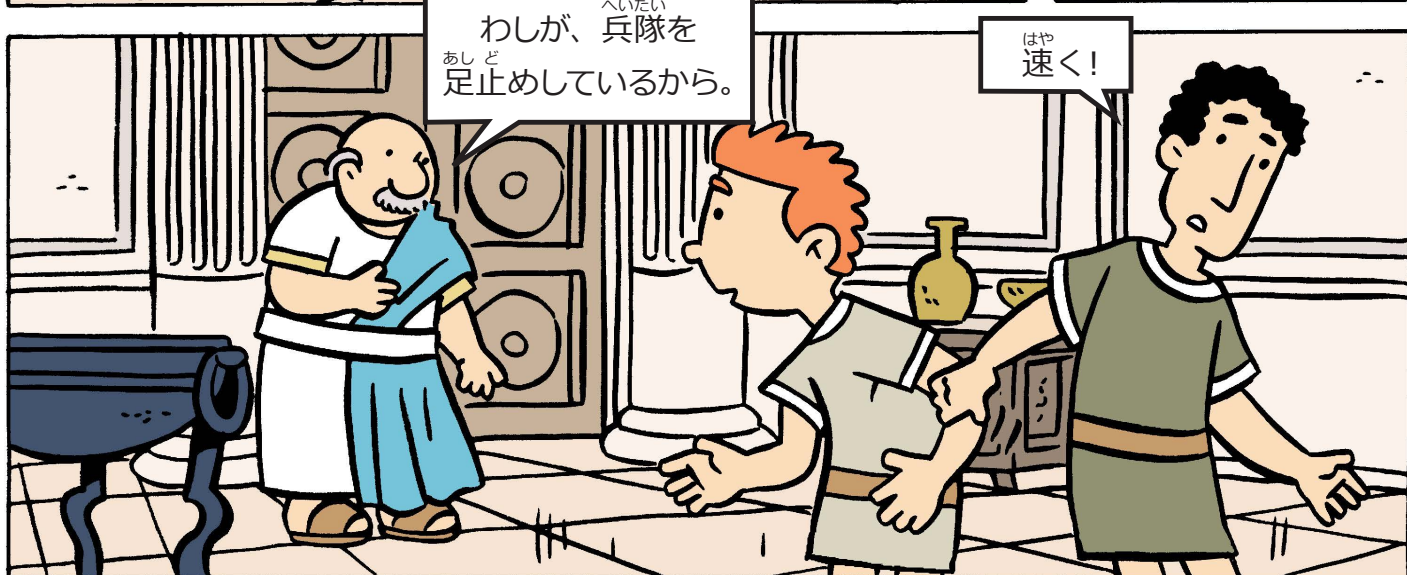
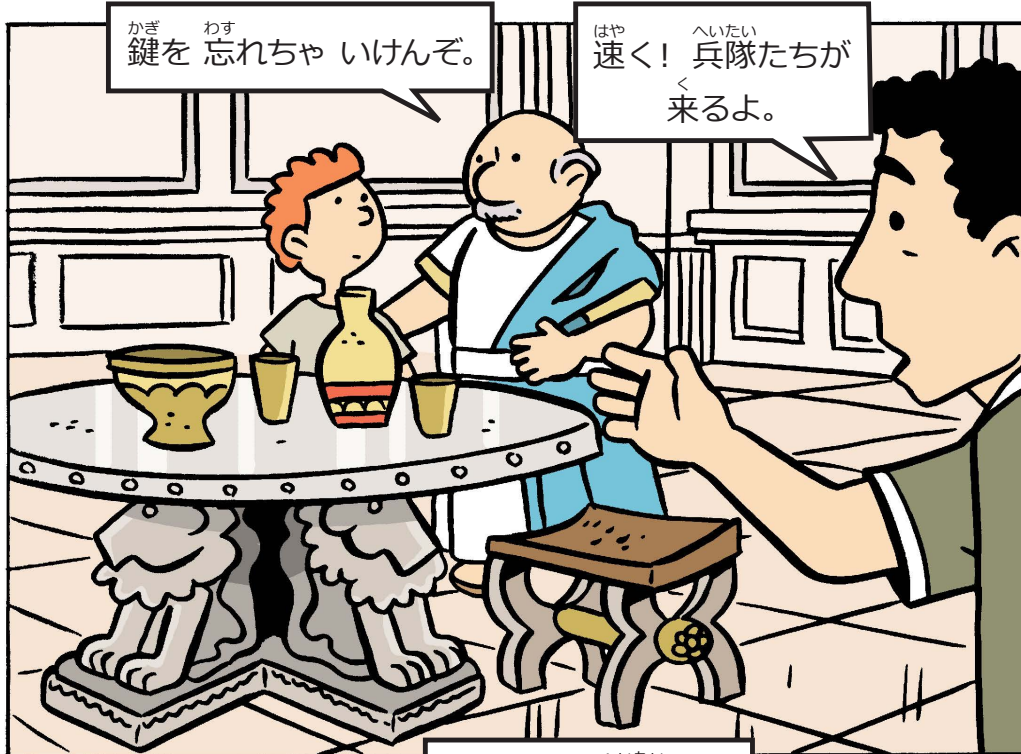
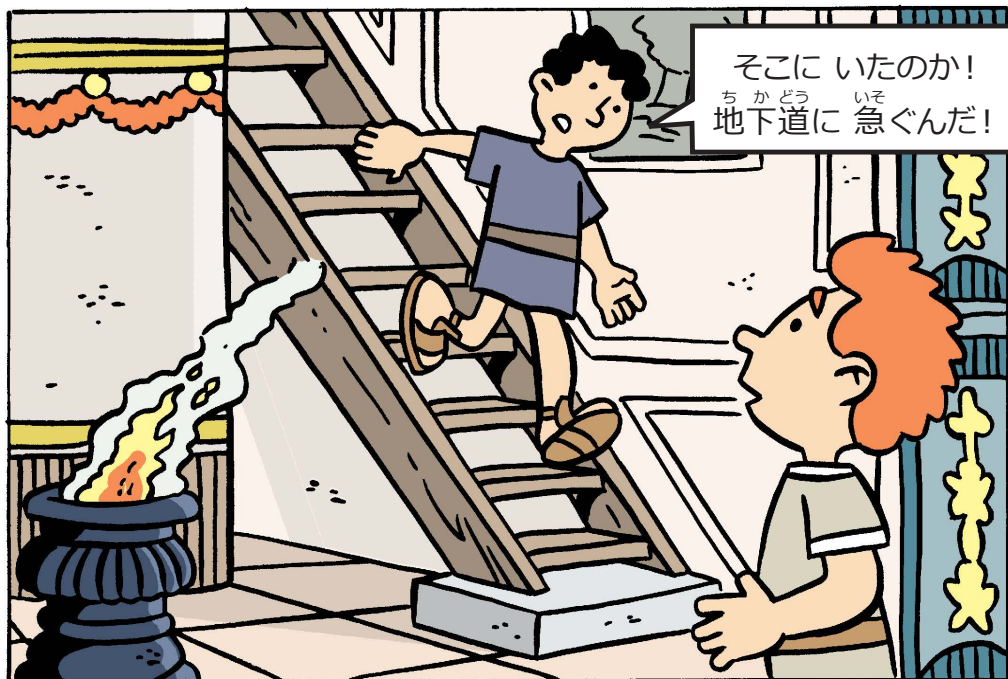
セドリック。

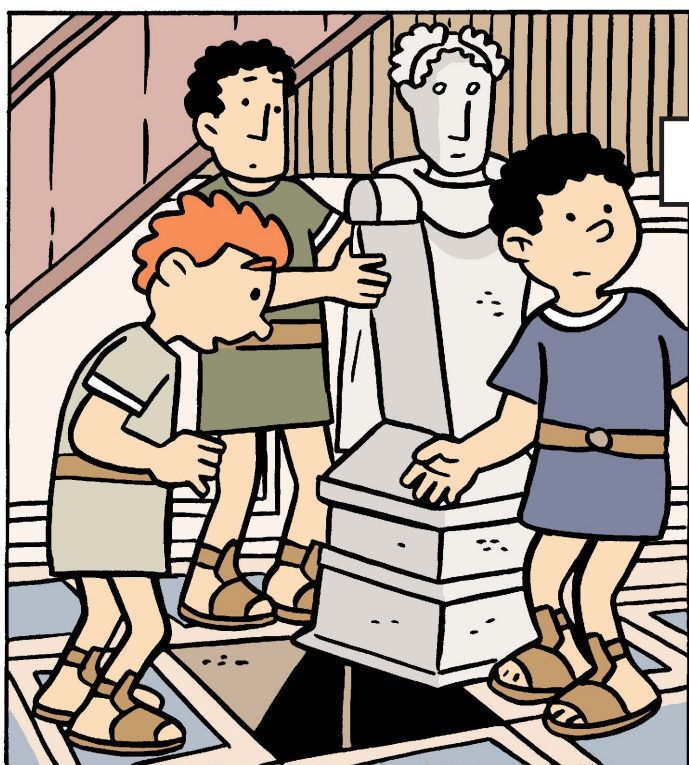
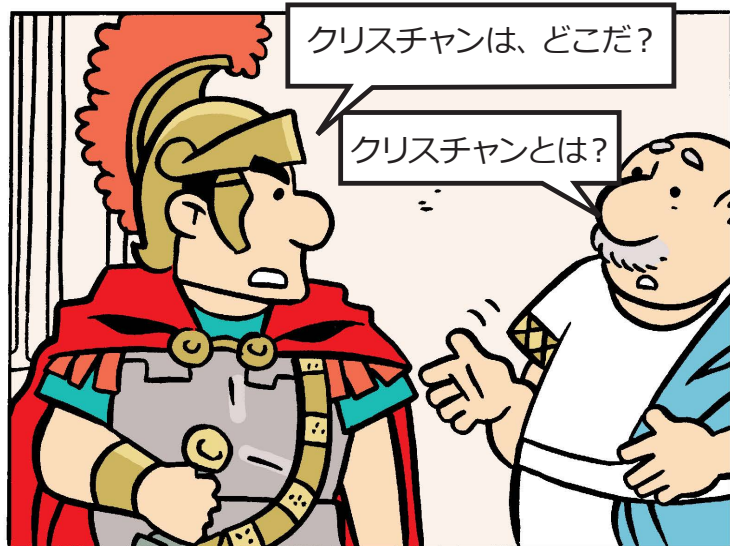
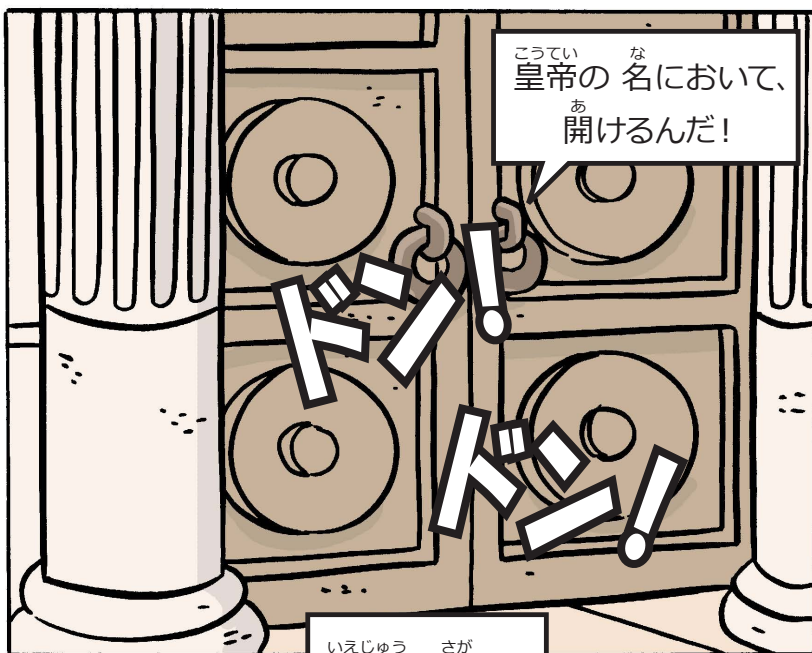
はいはい。もう、
なん ど き
何度も 聞いたこと
ありますよ。

どう ぐ ば こ
工具箱を
も
持たないで
しごと い
仕事に 行く
き かいこう
機械工みたいです。
それから・・・











うへっ、
くさいなあ!



そろそろ、
で
出られるかな?



もうすぐだよ。
つぎかど
次の角を
ま
曲がったらね。...



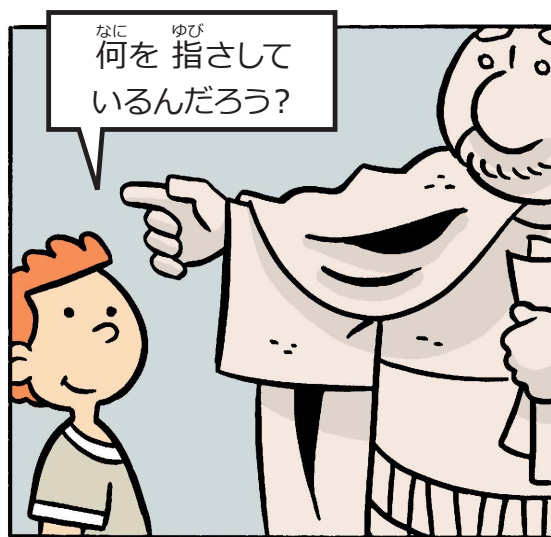
でぐち
出口が
ふさがれている!

わ
分かっているよ。
かぎだ
鍵を出して。

いけない!
かぎわす
鍵を忘れちゃった...
まただあ!

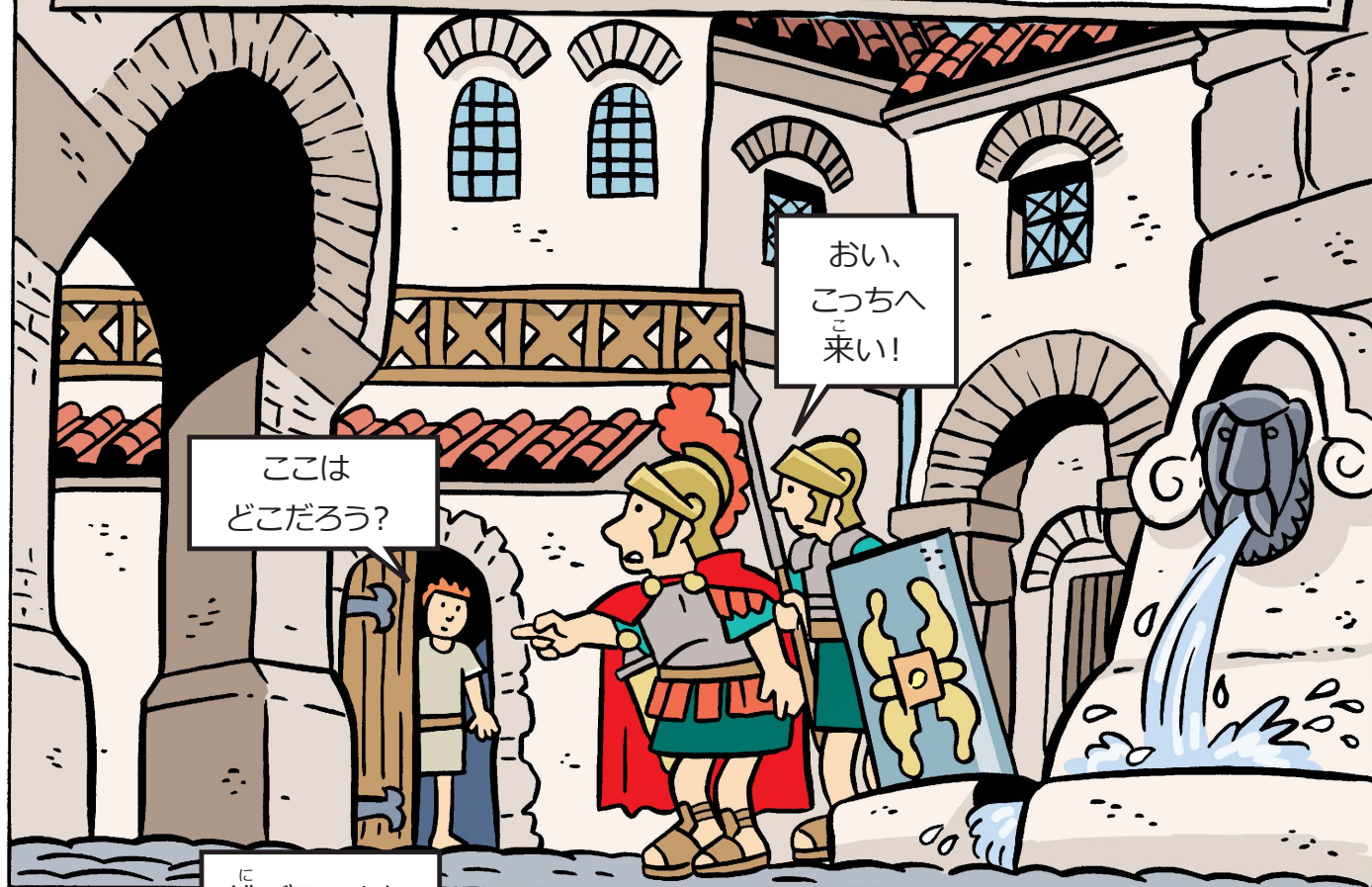


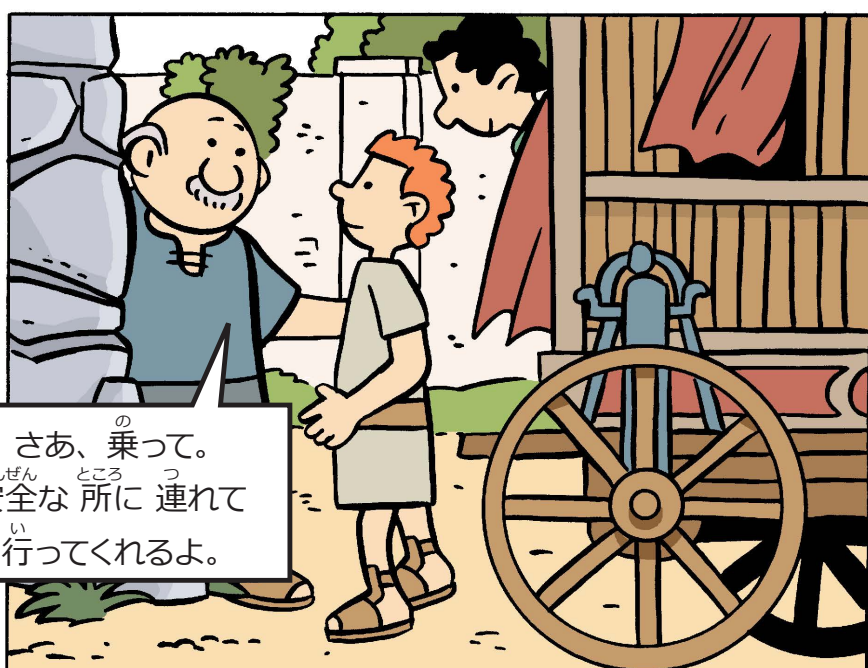
ここでま
待って。
もどって、
と
取って来るから!

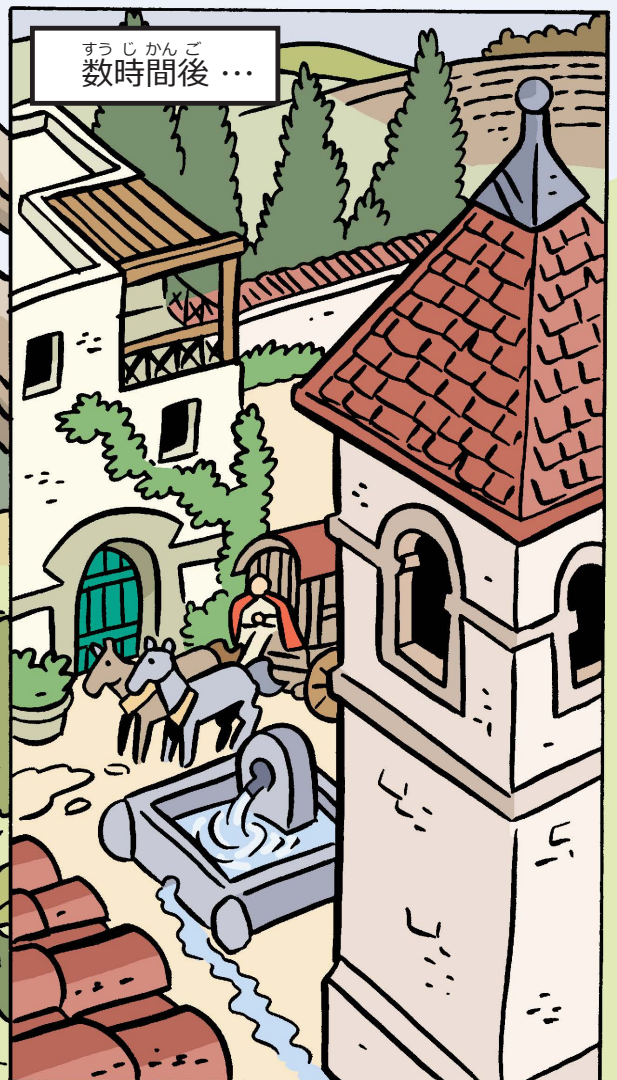


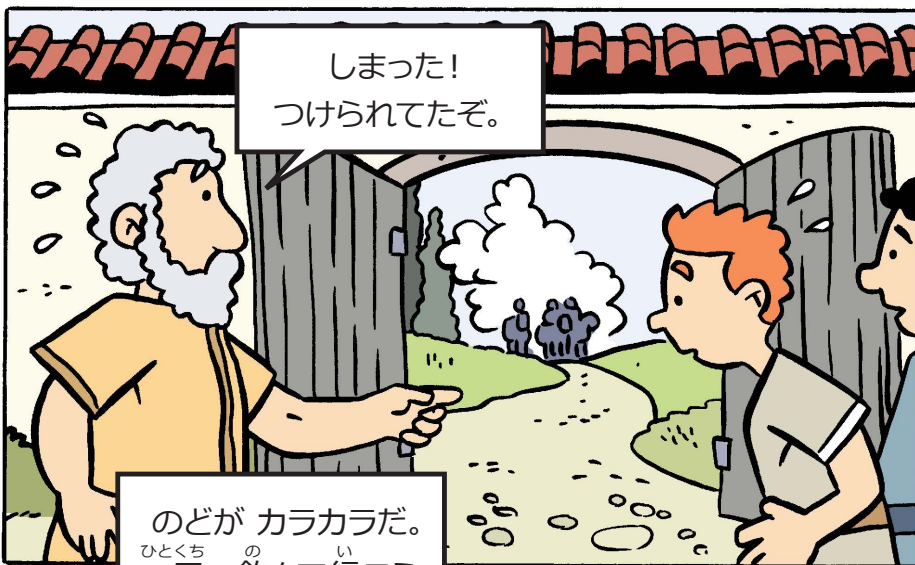
わす
「忘れないで、ロイ！」
だい 第2話
わ

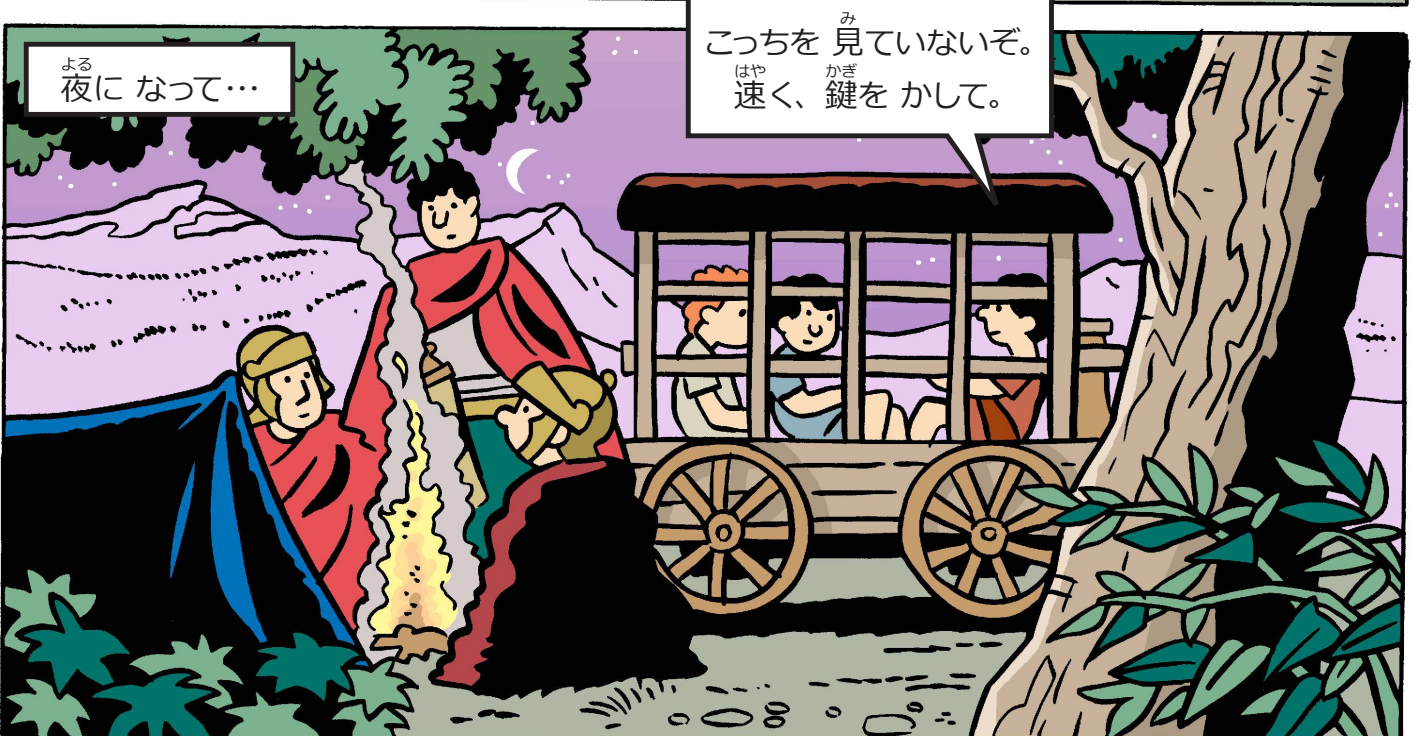
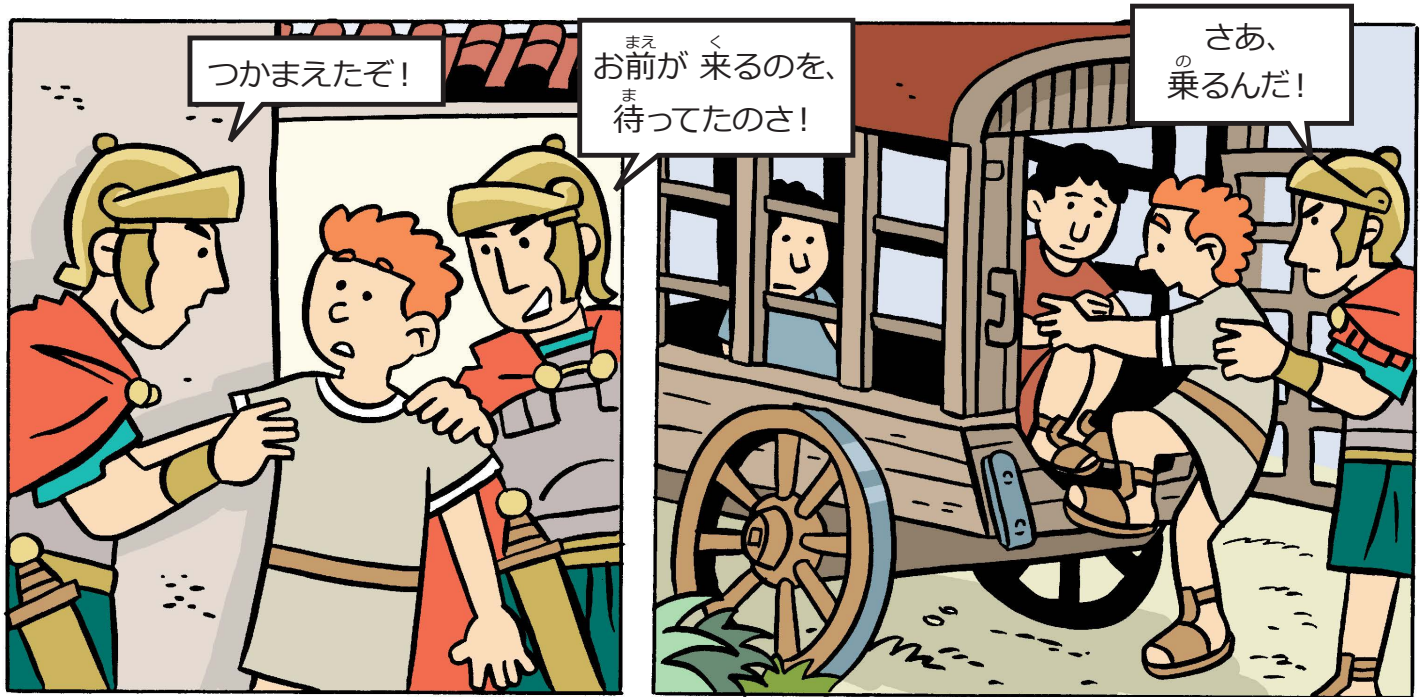
これまでの お話：ロイは、友だちのお父さんが 聖書クラスの 生徒たちのために 作ってくれた 小冊子に のっている、鍵となる 聖書の 約束を 暗記することをおこたっていました。気が 付くと、ロイは 夢の中で、中世の ローマに いました。危うく つかまりそうな ところを 脱出した 後、脱出口の ロックを 開けるための 鍵を 忘れてきたことを 思い出し、鍵を 探すために、今 来た 地下道を 引き返します。廃墟となった ローマの 村の中で 鍵を探していると、とびらの 方を 指さしている 銅像が 立っていました。そこで その とびらを 通りぬけてみると、ロイは また 別の 冒険へと 突入していったのです！

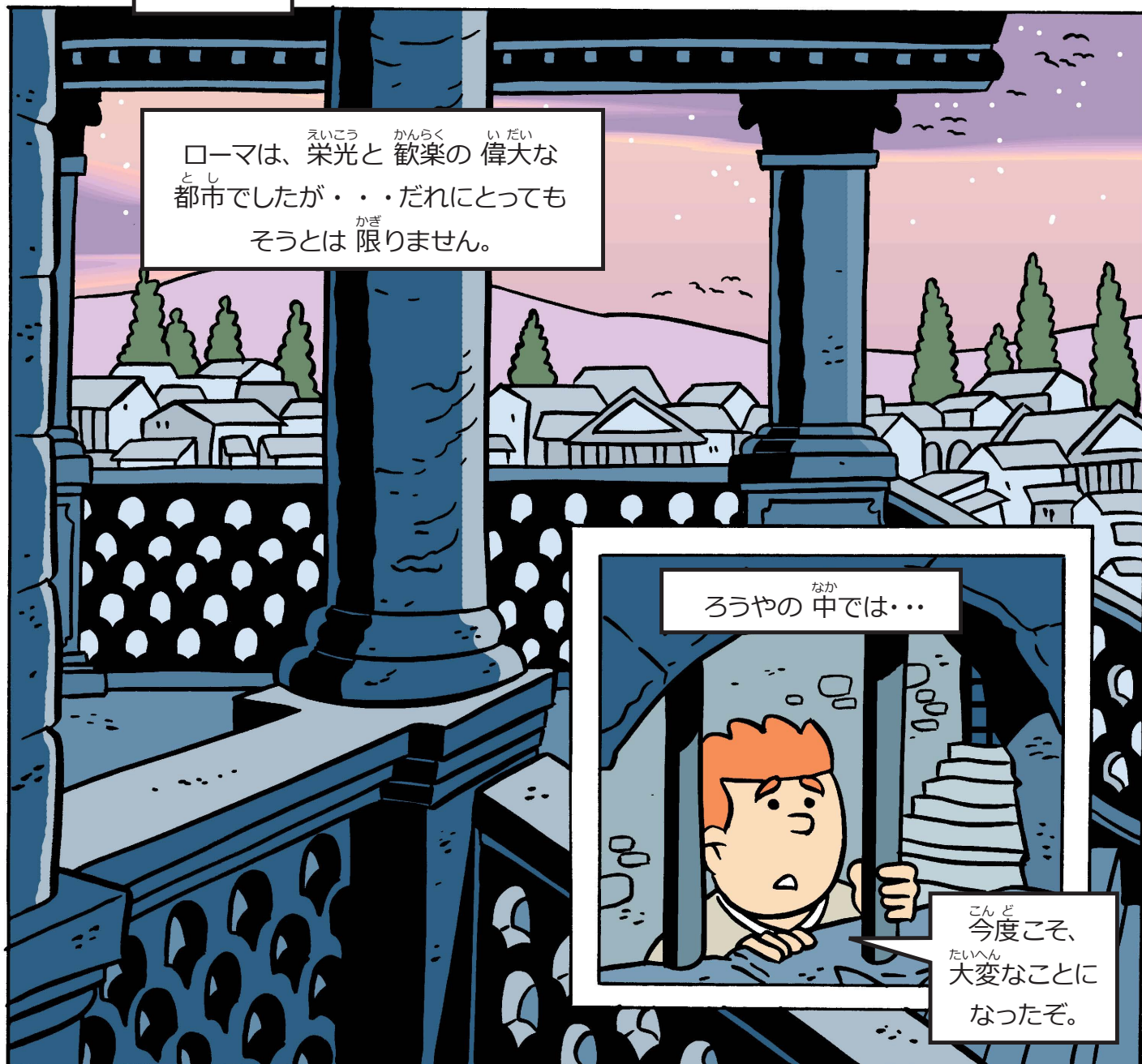


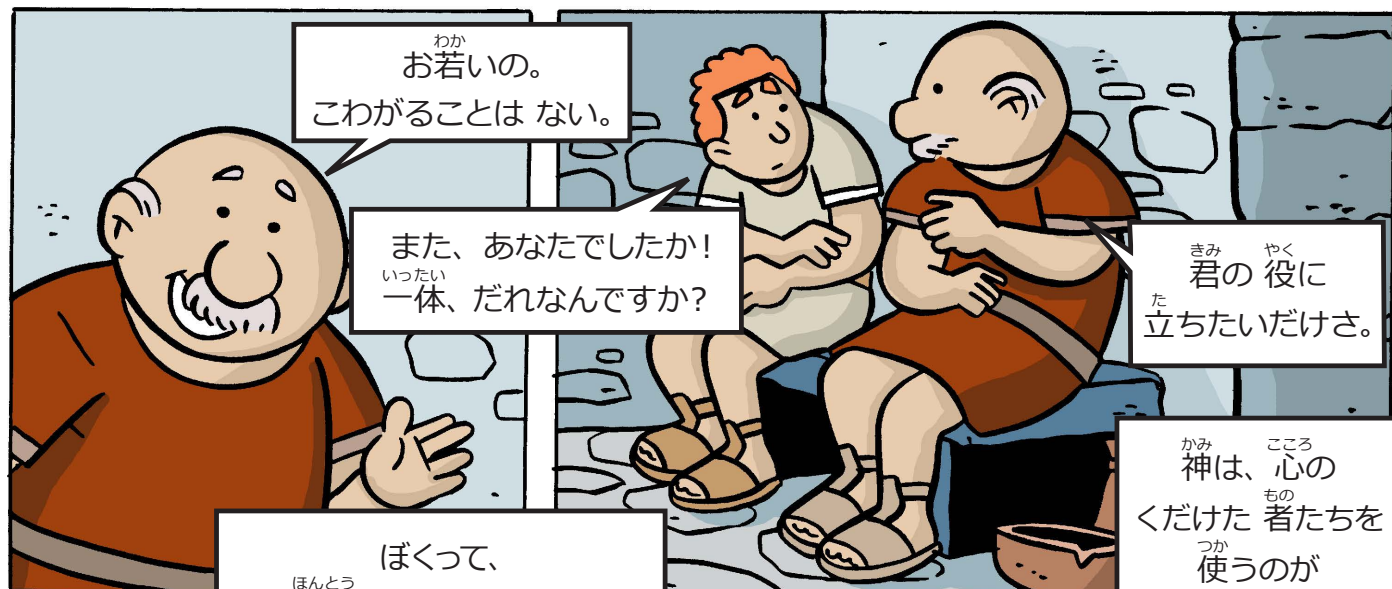












わか
お若いの。
こわがることは ない。

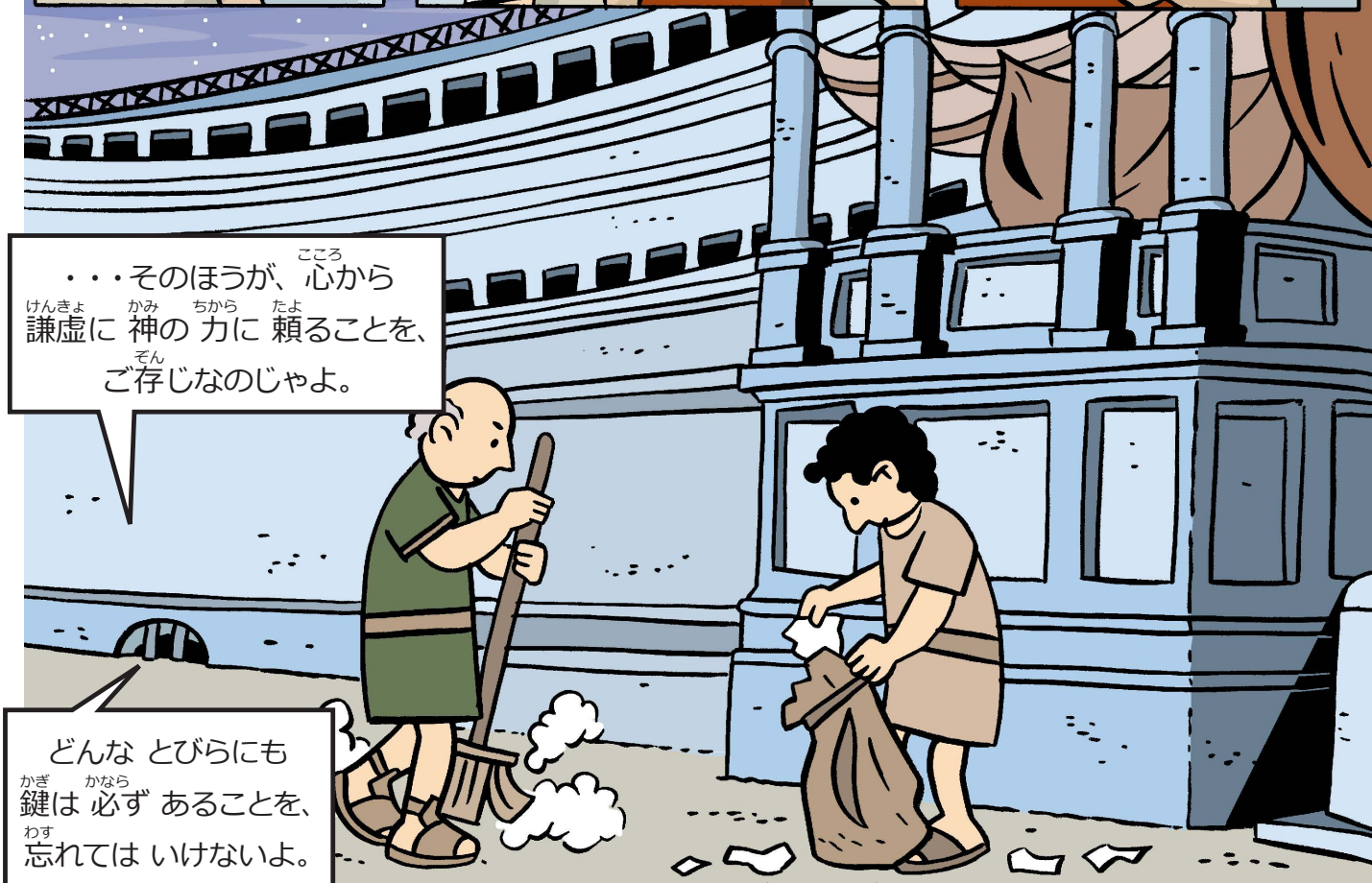
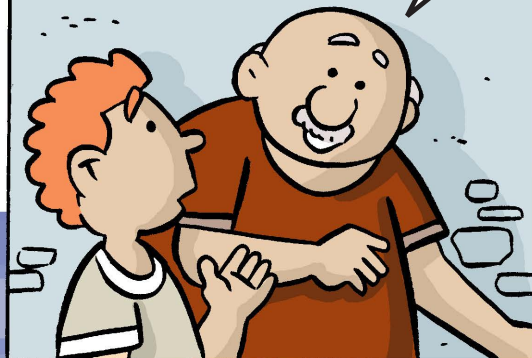
また、あなたでしたか！
いったい
一体、だれなんですか？

きみ やく
君の 役に
た 立ちたいだけさ。

かみ こころ
神は、心の
く だけた もの 者たちを
つか 使うのが
す お好きじゃ・・・

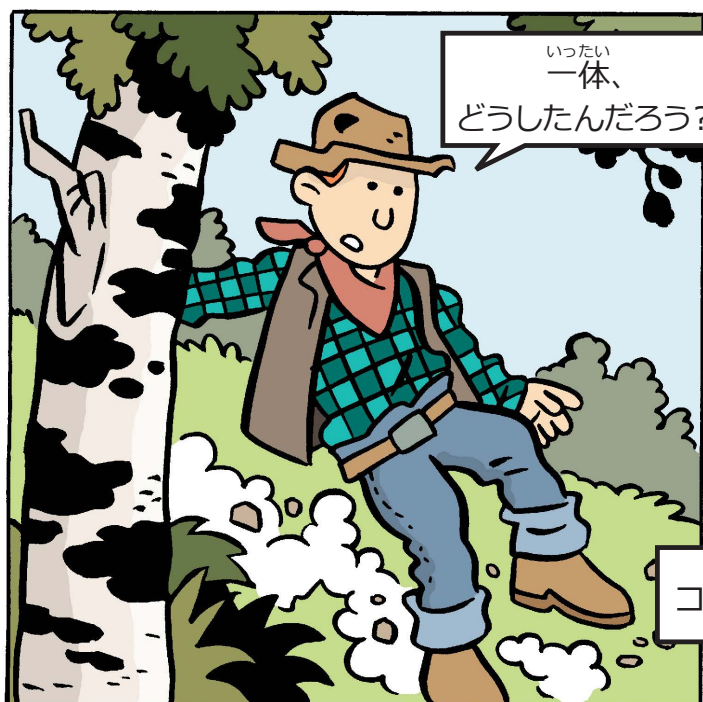
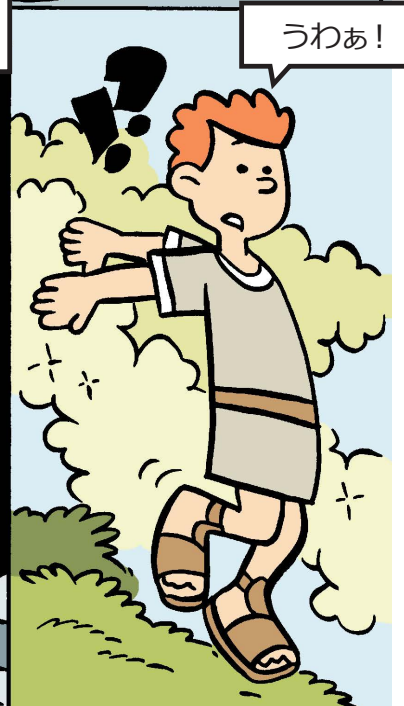
ぼくって、
ほんとう
本当に ダメなんです。
いつも まちがってばかりだ。

そう
き お
気落ちなさるな。



・・・そのほうが、心から
けんきょ かみ ちから たよ
謙虚に 神の 力に 頼ることを、
そん
ご存じなのじゃよ。

どんな とびらにも
かぎ かなら
鍵は 必ず あることを、
わす
忘れては いけないよ。



わす
「忘れないで、ロイ！」
だい
第3話
わ

これまでの お話 : ロイの 冒険は、おじいさんが くれた 鍵を 置き忘れてしまってから、
どんどん 悪い 方向に 進んでいるようです。コロシアムの 地下ろうに 入れられると、
また 例の おじいさんが いました。おじいさんは ロイを はげましてくれます。その
直後、ロイは 何の 前ぶれも なく、また 別の 場所に タイムスリップしてしまいました。





ふる
古い
たんごう
炭鉱ですか？



かぎ
鍵を
はや
かしてくれ。速く！

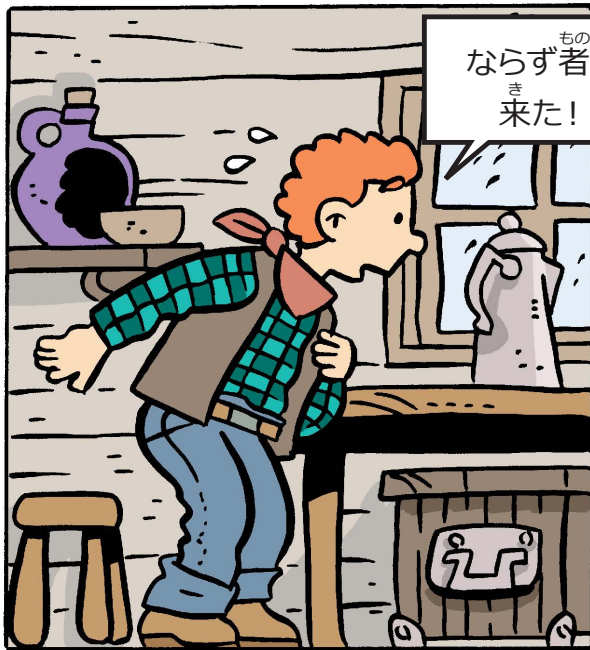


かぎ
鍵？ ああ、
ここに あるかな。



やった！
こんど
今度は
わす
忘れてないぞ！

よろこ
喜んでる
ばあい
場合か。・・・
もの
ならず者が
お
追いかけて
きてるんだぞ。



ならず^{もの}者が
来た!



こっちじゃ!
トンネルを
ぬけるんだ。



また
あ
会えましたね!



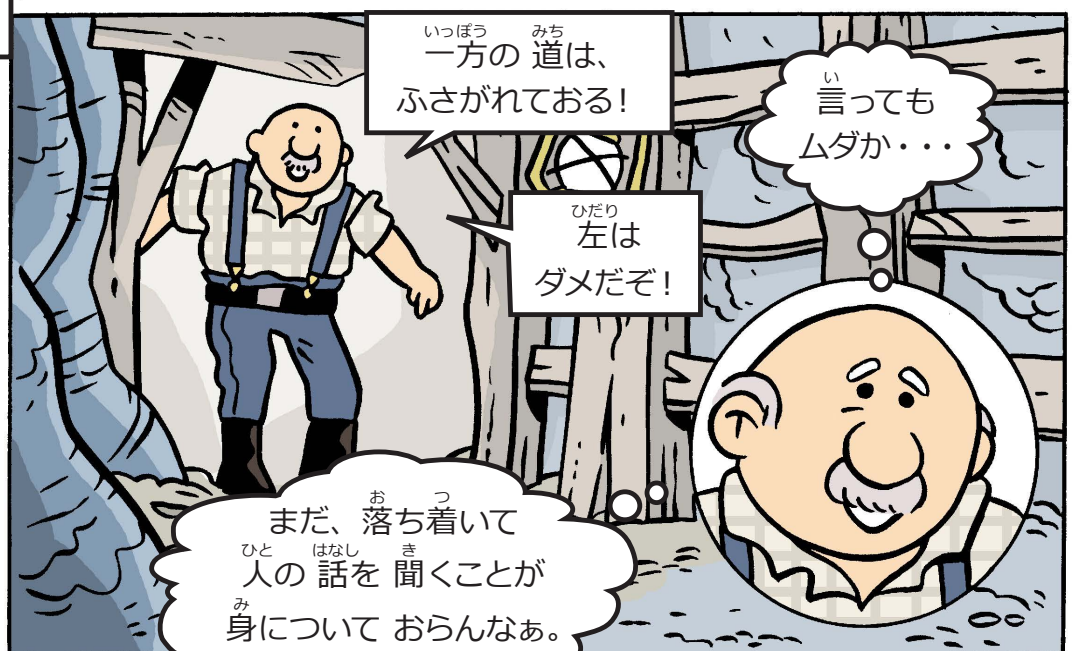
やまなか
の山の中に
トンネルが
とお
通っているの
じゃが...



いそ
急いで!



はし
走らないと。



いっぽう
の一方の道は、
ふさがれておる!

ひだり
左は
ダメだぞ!

い
言っても
ムダか...

まだ、
お
落ち着いて
ひと
のはなしを
聞くことが
身について
おらんなあ。



ねえ、
ま
待ってよ!



どっちに ^い行ったんだろう?!
^{みぎ}右かな、^{ひだり}左かな?

き
決めるのは
^{にがて}苦手だなあ!

ふ〜む。
^{ひだり}左が いいかな。



とつぜん
突然・・・



たいへん
大変だ!

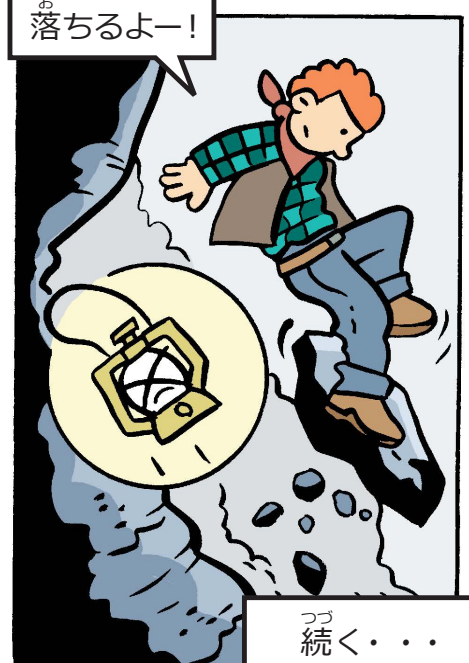
こっちの トンネルは
くずれてる! もどって、
^{ほう}ちがう方の トンネルに
いかないと。



ランプを
お
落としちゃった!
^{たす}助けて!



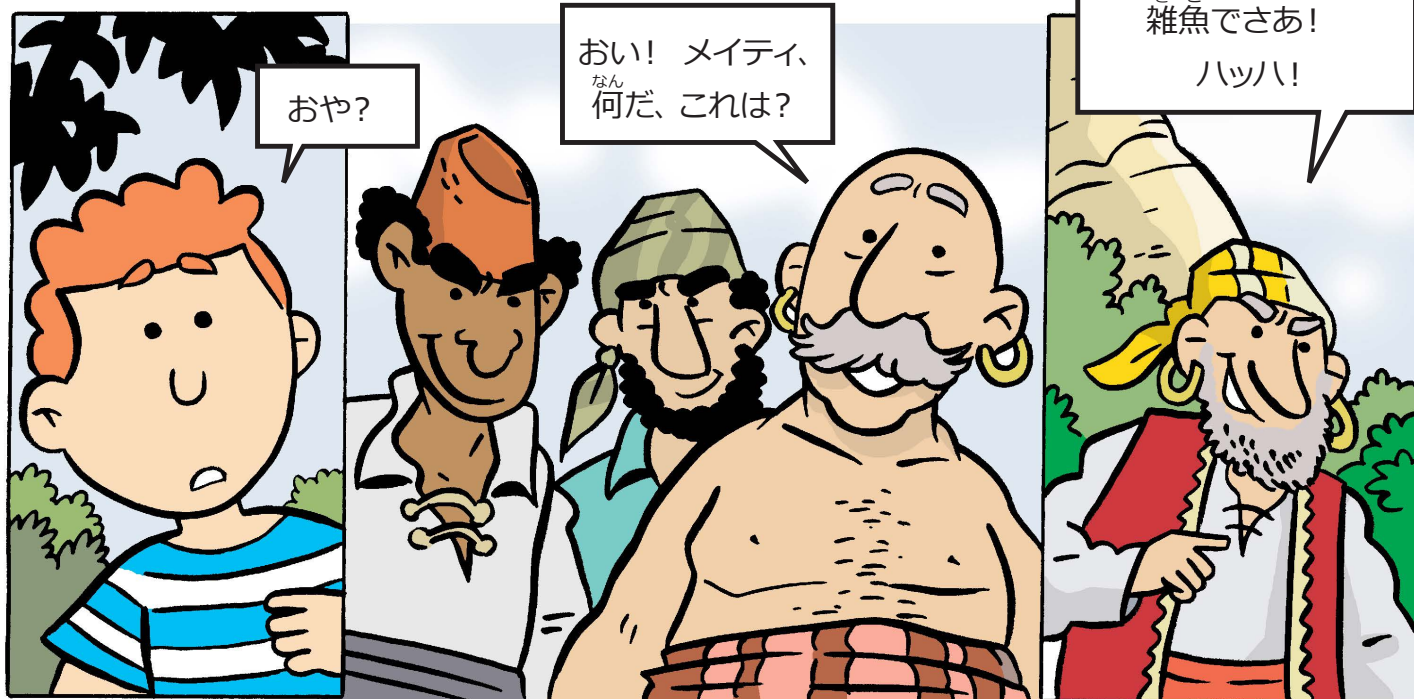
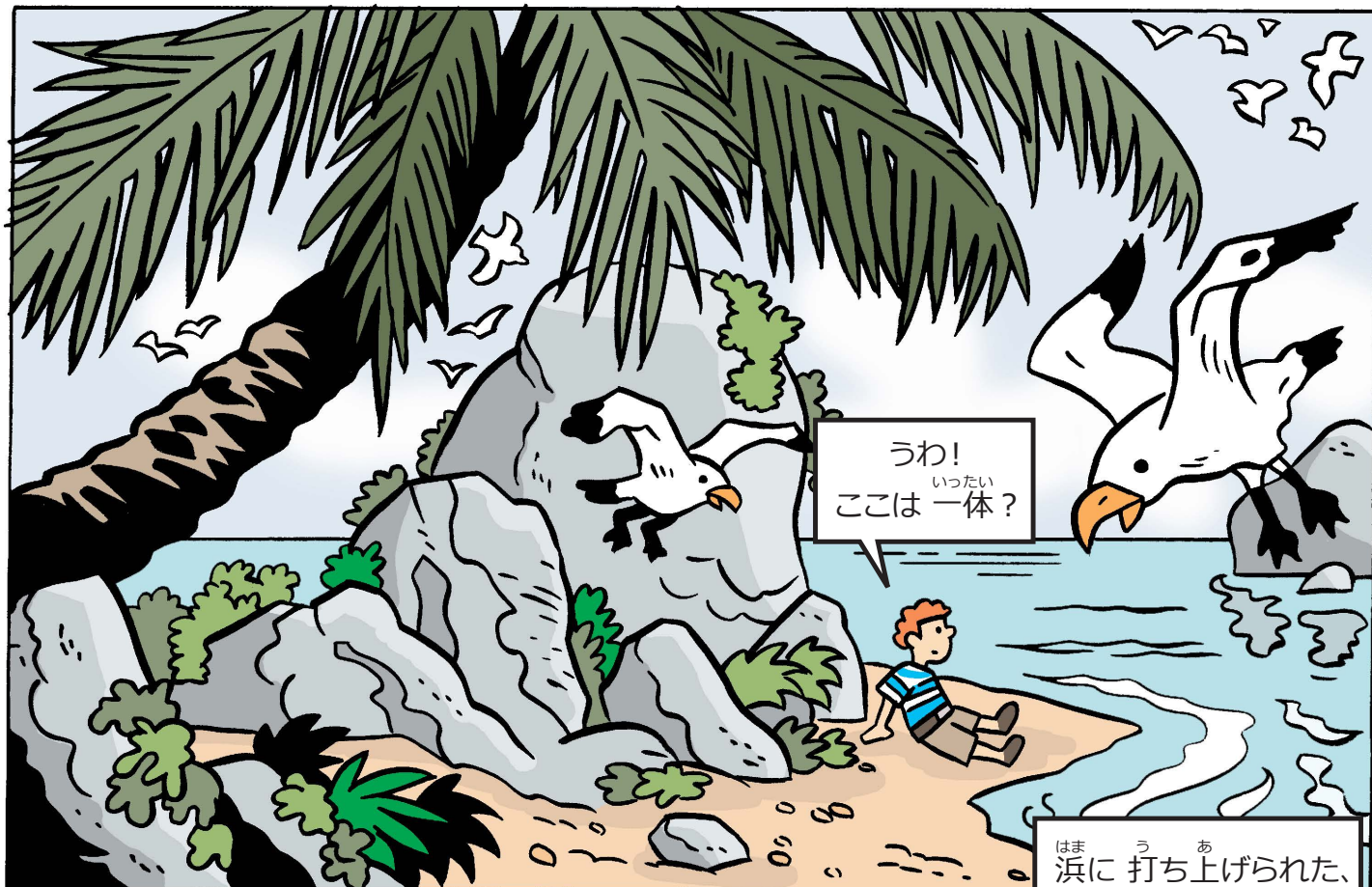
^{たす}助けて!
お
落ちるよー!

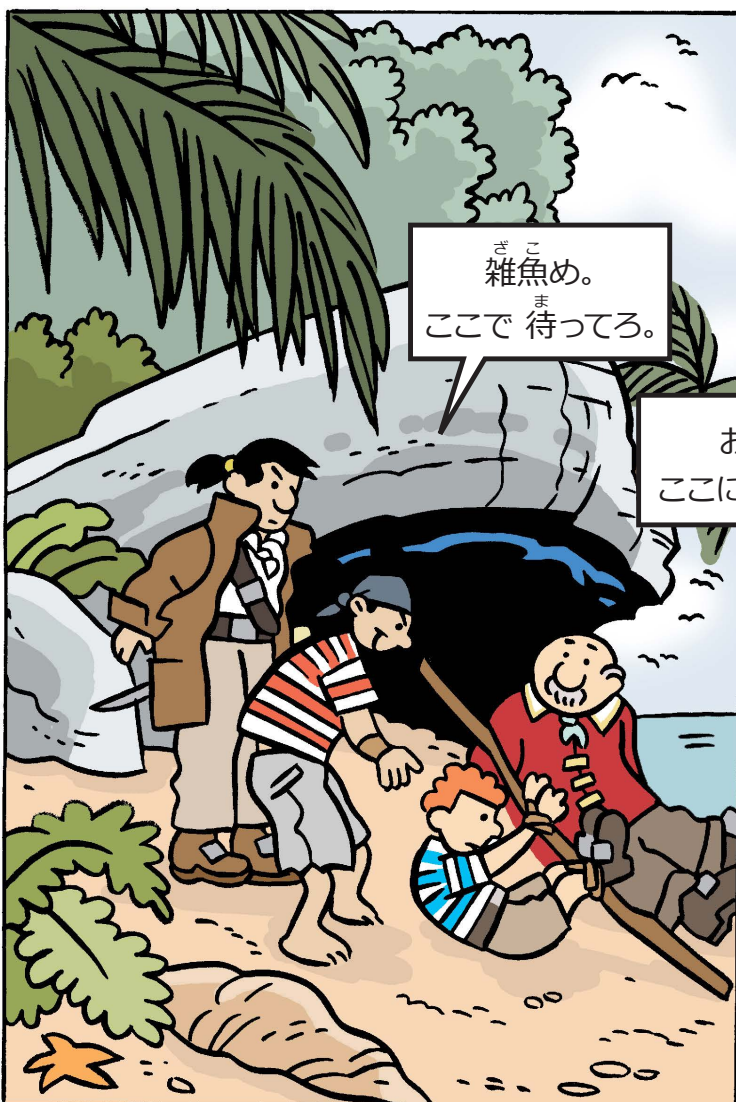
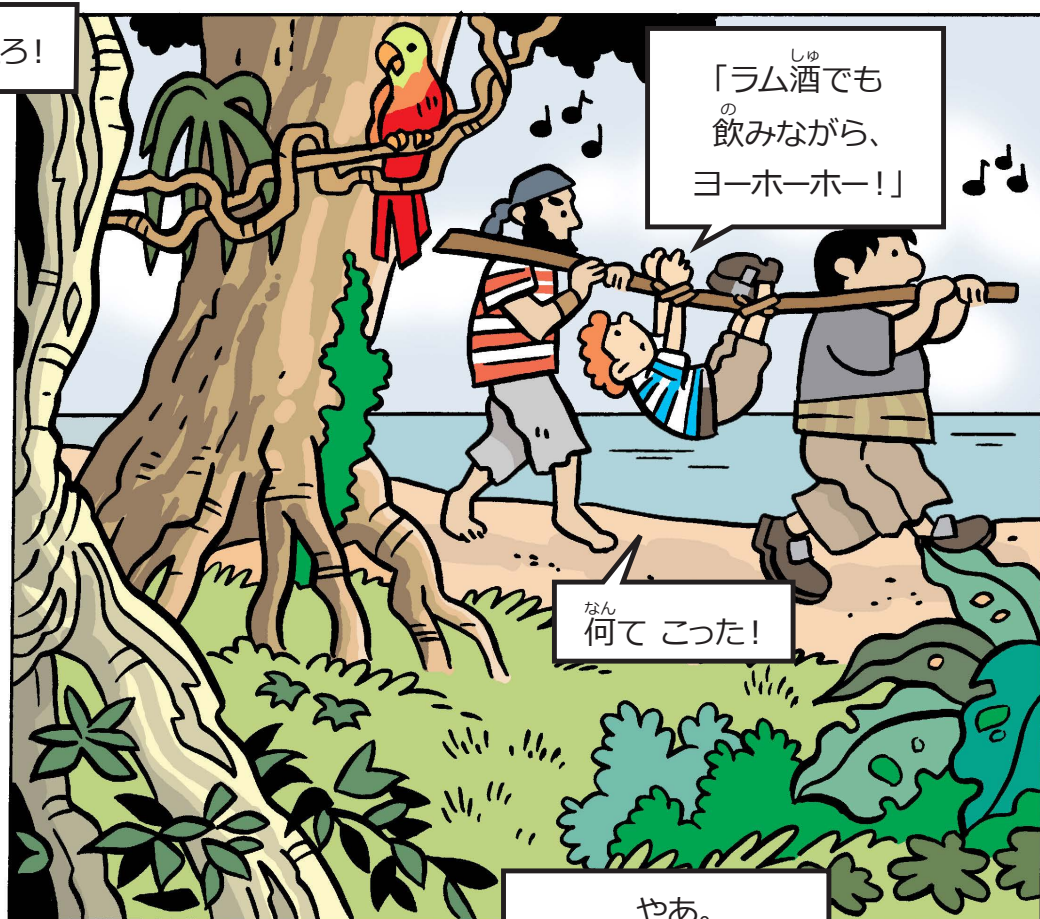


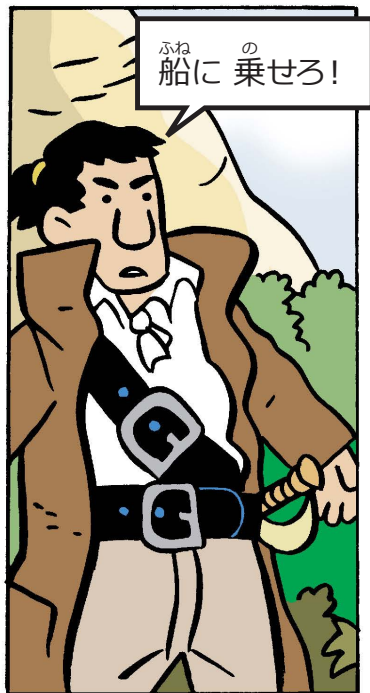
つづ
続く・・・

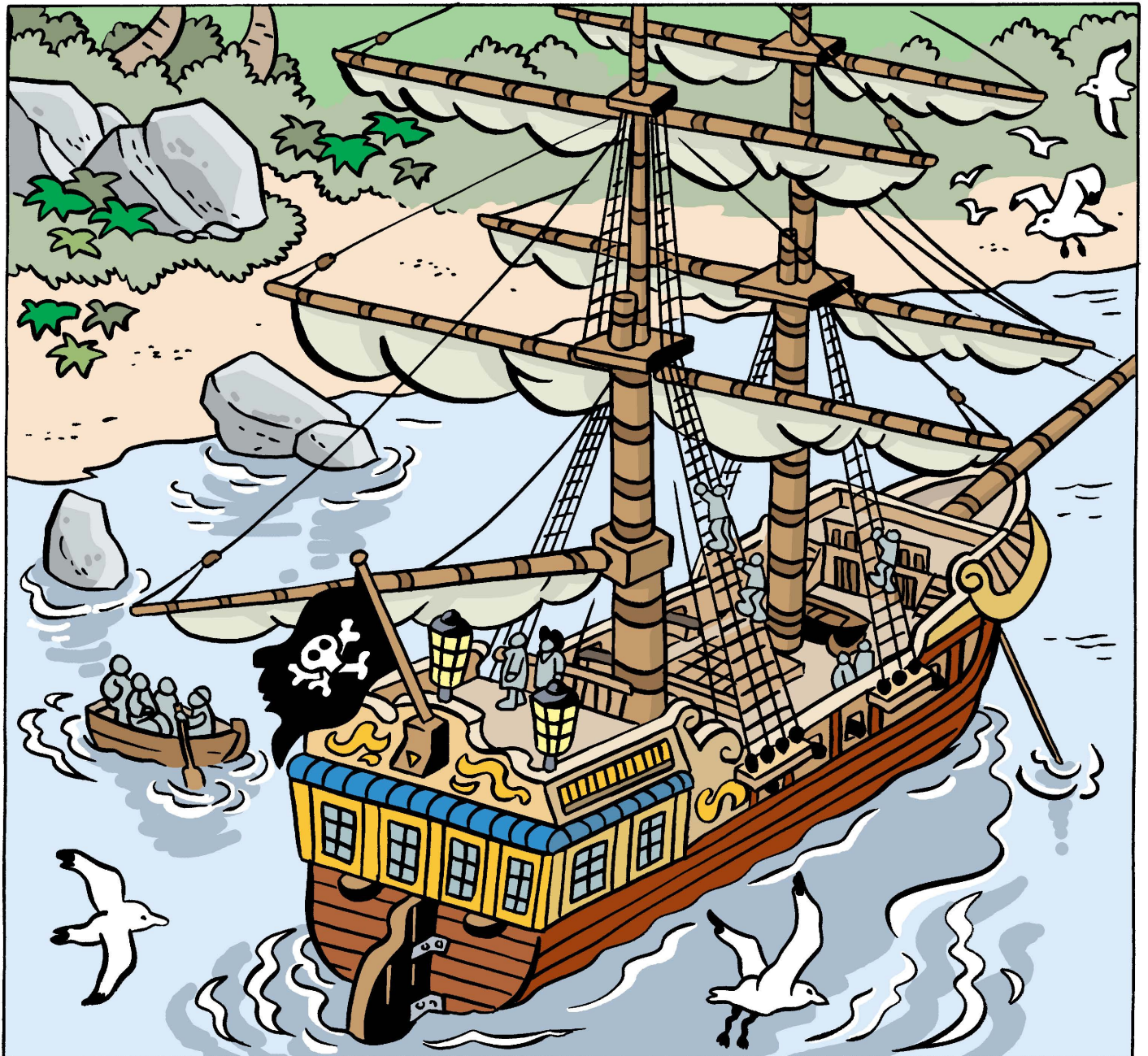
「^{わす}忘れないで、ロイ!」^{だい}第4話^わ

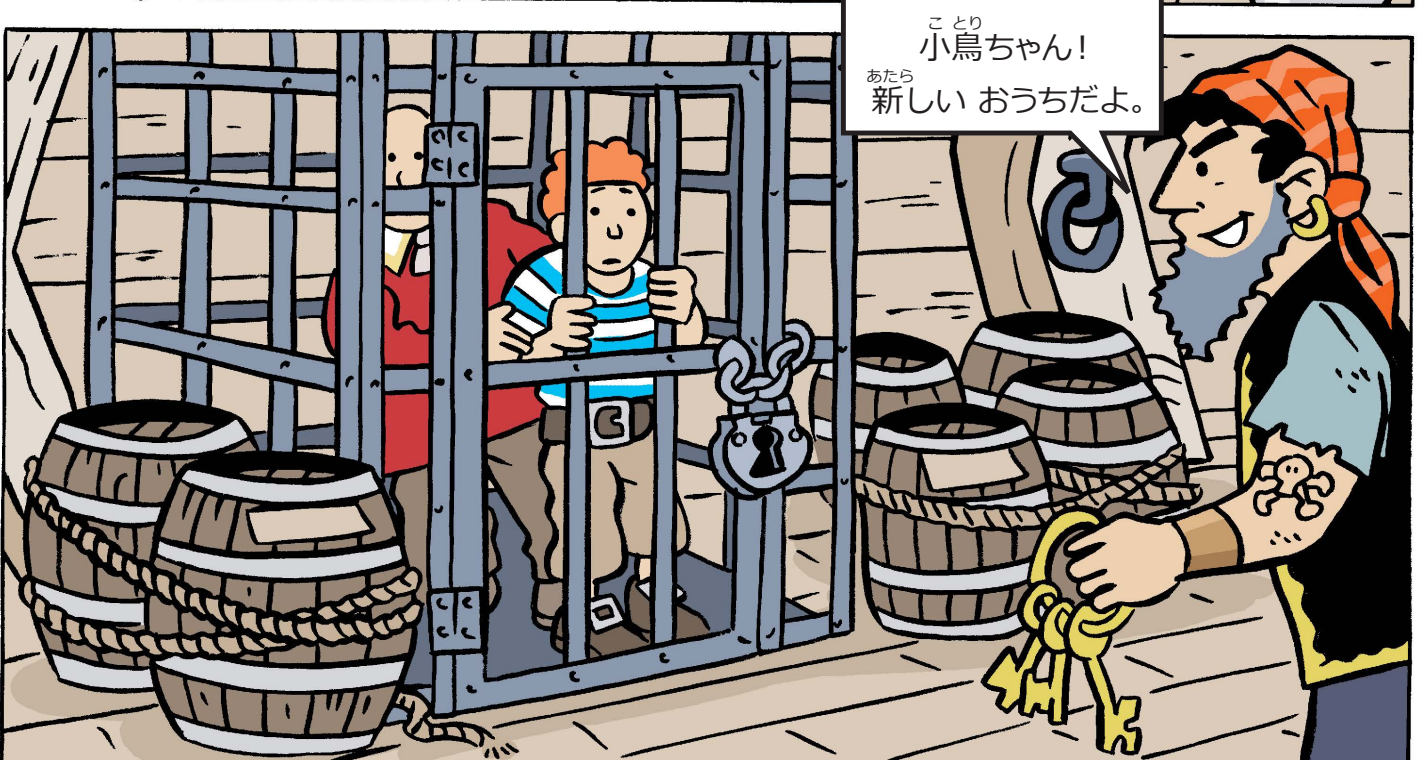
これまでの ^{はなし}お話 : ロイは ^{あや}危ういところで、^{ちゅうせい}中世の ^{へい}ローマ兵や、^{せいぶ}アメリカ西部の
^{もの}ならず者から ^{のが}逃れました。今回の ^{こんかい}冒険で、ロイは ^{ぼうけん}鍵のことを ^{かぎ}ちゃんと ^{おぼ}覚えてい
られるでしょうか?

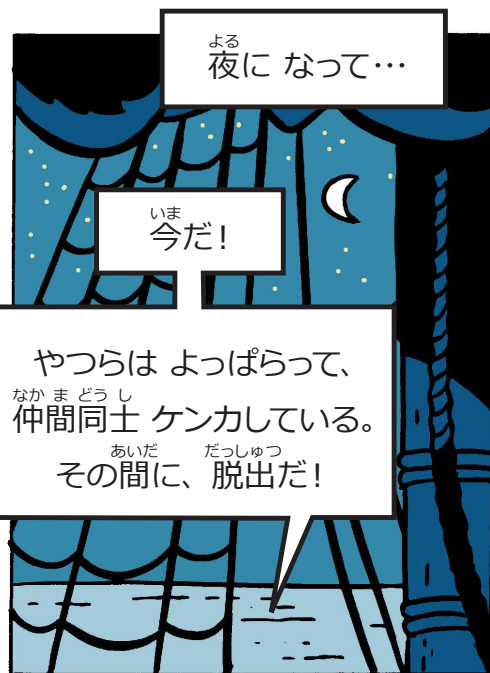








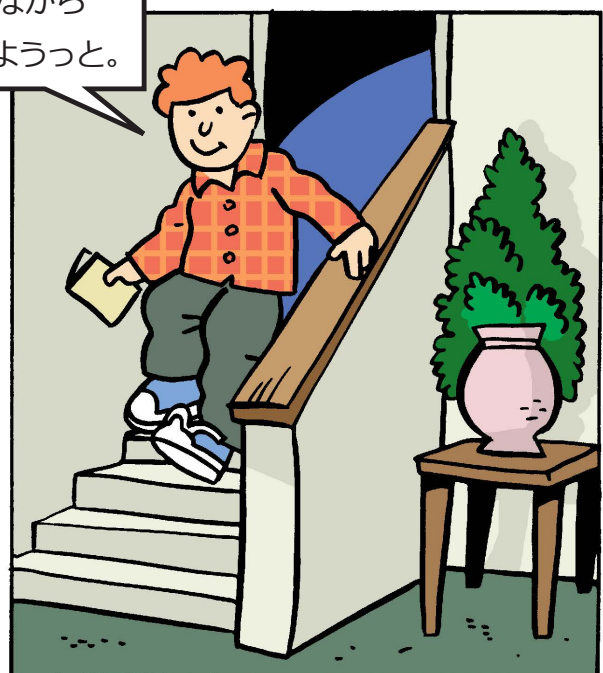


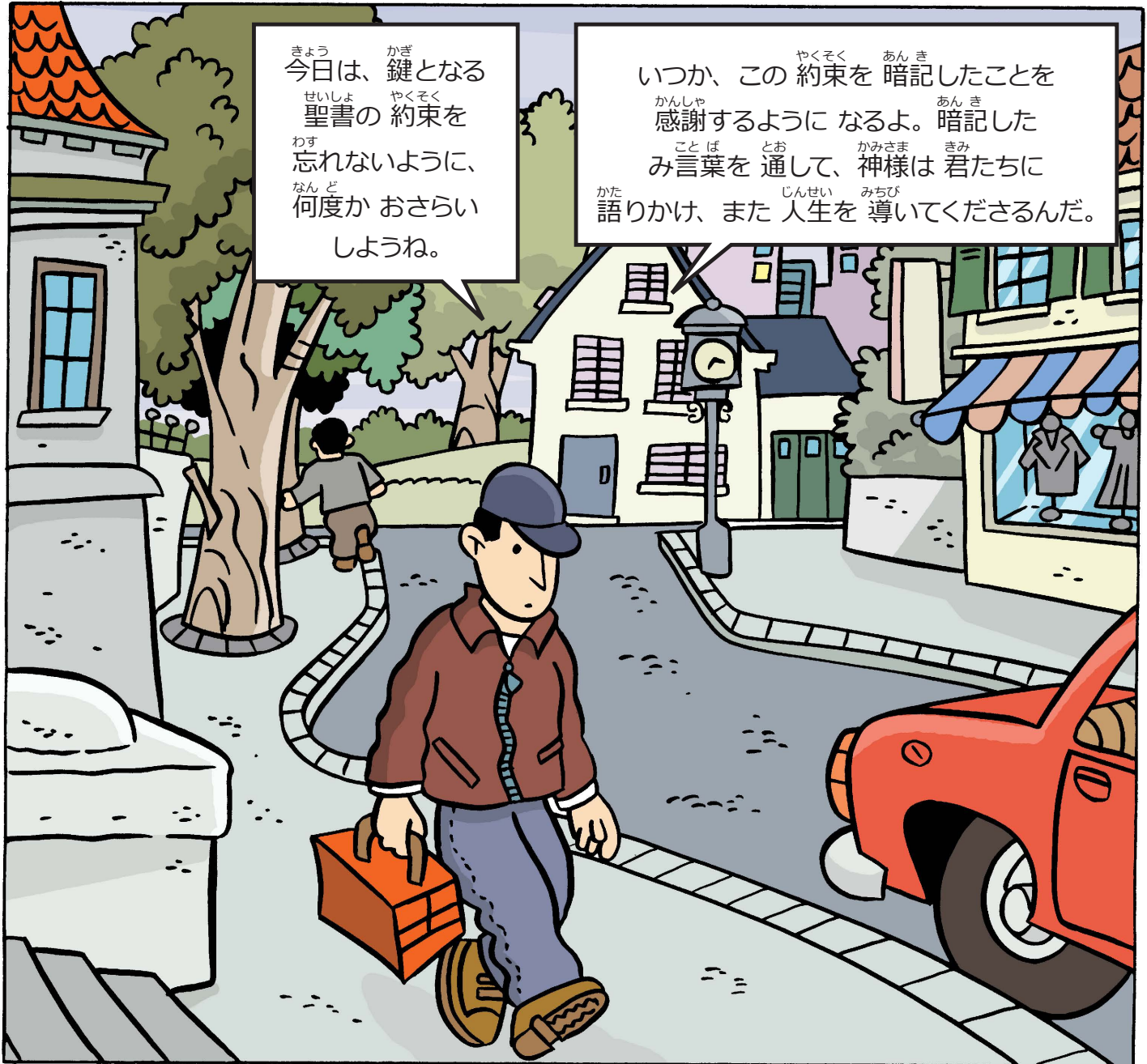


「^{わす}忘れないで、ロイ！」^{だい}第5^わ話

これまでの^{はなし}お話：最後の^{さいご}冒険^{ぼうけん}で、ロイは^{かい}海^{せん}ぞく船^{せん}につかまっていたましたが、^{こんかい}今回は^{かぎ}鍵^{わす}を^も忘れずに^{たす}持っていたので、ろうやの^あロック^にを開^だけて^に逃^だげ出すことが出来ました。
そして、船が^{ふね}爆発^{ばくはつ}する^{まえ}前に、無^ぶ事^じボートで^{だっしゅつ}脱出^{だっしゅつ}することができたのでした！







お 終わり

「あなたの み言葉は、わたしの 足の ともしび、
わたしの 道の 光です。」(新改訳聖書、詩篇 119:105)

「わたしは あなたに むかって 罪を 犯すことの ないように、
心の うちに み言葉を たくわえました。」
(口語訳聖書、詩篇 119:11)